

News 第3号

秋田再起動を実現する会

発行

〒015-0875 秋田県由利本荘市砂子下113-9 電話0184-22-8430

討議資料



この男、秋田を変える。

村岡敏英

# 家族が離れて生活する少年時代

昭和35年7月、兼造の次男として生まれた敏英は、幼少期から活発で茶目っ氣たっぷりな子供に育っていた。しかし、敏英が小学5年生の昭和47年、父兼造の衆議員初当選を境に家族の状況は一変する。



# History

当時、実家から50m程の場所に祖母が営む旅館があったので、食事や身の回りの事に不安はなかった。明治生まれの祖母は進歩的で、敏英にとって人生の師でもあった。

旅館に泊まる様々な職業の人達と毎日触れ合っていた祖母は、小学生の敏英に「職業に貴賤(上下の差別)なしで、色々な人が自分の仕事を果たすことで社会は成り立っている。もし人の役に立ちたいなら、それの人に対しても優しさを持つこと。その優しさこそ

父母と妹は東京暮らしだし、兄と敏英は実家(本荘)に残り、家族は離れて暮らす事になるのだった。



入学当初は父親が国會議員で目立つ存在であつたため、からかわれたりすることもあつたが、全て自分で解決するしかなかった。



問題を自分で解決する術は、そういう経験から養われた。

心も体も成長し、逞しくなった彼を同じ野球部の森川さんは、「敏英君は外野の控え選手だったが、ベンチからの声が一番大きく、皆が奮い立ち全県優勝の原動力となつた」と回顧する。

## 本荘南中学校野球部時代

兄との生活も一年が過ぎ中学校に入学。野球が好きだった敏英は迷わず野球部に入部した。

鶴ヶ丘高校へ地方からの入学生は珍しく、青森一人と秋田一人だけだった。ある日、この二人の会話を聞いていた東京出身の同級生から、「二人の会話は何を話しているかわからない」と指摘された。

親と妹は秋田に戻り、逆に兄弟二人の生活は東京が始まったのである。

鶴ヶ丘高校へ地方からの入学生は珍しく、青森一人と秋田一人だけだった。ある日、この二人の会話を聞いていた東京出身の同級生から、「二人の会話は何を話しているかわからない」と指摘された。

は可哀想と、兄と一緒に上京、日大付属鶴ヶ丘高校に入学した。ところが、家族が揃ったのも束の間、親と妹は秋田に戻り、逆に兄弟二人の生活は東京が始まったのである。

鶴ヶ丘高校に入学した。この年は総選挙で父が落選したため両親と妹は秋田に戻り、逆に兄弟二人の生活は東京が始まったのである。

## 日大付属鶴ヶ丘高校（東京）で秋田弁大流行

敏英が高校に進むとき、三つ上の兄は東京の大学に進学が決まっていた。この時、敏英を一人で暮らさせるの



高校卒業後は日大商学部へ入学し、バトミントンに夢中になった。

## 島建設(株)へ就職



平成29年には母校生徒1500人を前に自身の経験から「挫折しても諦めない心」などについて講演を行つた。

## 村岡敏英 Profile

昭和35年7月25日生まれ  
身長180cm、体重85kg、血液型AB型  
趣味:野球、バトミントン、読書  
座右の銘:一利一害 著書:STAFF(扶桑社)  
本荘市立鶴舞小卒、市立本荘南中卒、日大付属鶴ヶ丘高校卒、日大商学部を卒業。飛島建設6年勤務後、政務秘書官・議員秘書を16年勤める。  
第46回衆議院総選挙に初当選。  
第47回衆議院総選挙で2期目の当選。  
令和3年4月秋田県知事選に挑戦し、193,538票獲得するも惜敗。



この頃の飛島建設での敏英は、一つのプロジェクトを任せられ、仕事にやりがいを感じていた頃だった。一方、父兼造は要職に就くようになり、彼に秘書就任を要請した。敏英は悩んだ末、飛島建設に別れを告げ、政界に足を踏み入れる決心をしたのである。

日大卒業後、飛島建設に6年間勤務（内、1年は安田信託銀行出向）。安田信託銀行不動産部出向時代の同僚、大塚さんによると「仕事は早く、お客様からも好かれていた。それに勤務終了後の酒付き合いは、欠かさずしたのに驚いた。」と言ふ。

# 家族が離れて生活する少年時代

昭和35年7月、兼造の次男として生まれた敏英は、幼少期から活発で茶目っ氣たっぷりな子供に育っていた。

しかし、敏英が小学5年生の昭和47年、父兼造の衆議院初当選を境に家族の状況は一変する。

◆  
父母  
と妹は  
東京暮らし

◆

敏英は  
実家(本  
莊)に残  
り、家族  
は離れ  
て暮ら  
す事にな  
った。



当時、実家から50m程の場所に祖母が営む旅館があったので、食事や身の回りの事に不安はなかった。明治生まれの祖母は進歩的で、敏英にとって人生の師でもあった。

旅館に泊まる様々な職業の人達と毎日触れ合っていた祖母は、小学生の敏英に「職業に貴賤(上下の差別)なしで、色々な人が自分の仕事を果たすことできちたいなら、それの人に対しても優しさを持つこと。その優しさは社会は成り立っている。もし人の役

は自分に厳しくなると言つた事だ。」  
そんな話をよくする祖母だった。

## 本荘南中学校野球部時代

兄との生活も二年が過ぎ中学校に入

学。野球  
が好きだつ  
た敏英は迷  
わず野球部  
に入部し

た。  
入学当初  
は父親が国  
会議員で目  
立つ存在で  
あつたため、からかわれたりすること  
もあつたが、全て自分で解決するしか  
なかつた。



問題を自分で解決する術は、そういう  
経験から養われた。

心も体も成長し、逞しくなつた彼を  
同じ野球部の森川さんは、「敏英君は外  
野の控え選手だったが、ベンチからの  
声が一番大きく、皆が奮い立ち全員優  
勝の原動力となつた」と回顧する。

## 日大付属鶴ヶ丘高校（東京）で秋田弁大流行

敏英が高校に進むとき、「三つ上の兄  
は東京の大学に進学が決まつていた。  
この時、敏英を一人で暮らさせるの

は可哀想と、兄と一緒に上京、日大付属  
鶴ヶ丘高校に入学した。

ところが、家族が揃つたのも束の間、  
この年の総選挙で父が落選したため両  
親と妹は秋田に戻り、逆に兄弟二人の  
生活は東京で始まったのである。

◆  
鶴ヶ丘高校へ地方からの入学生は珍  
しく、青森一人と秋田一人だけだった。

ある日、この二人の会話を聞いていた  
東京出身の同級生から、「二人の会話は  
何を話しているかわからぬ」と指摘

され、密かに  
ショックを受けたが、そ  
れでも二人  
は、秋田弁、  
青森弁を学  
校中のみんなに教え、  
大流行となつた。



平成29年には母校生徒1500人を  
前に自身の経験から「挫折しても諦め  
ない心」などについて講演を行つた。

## 日大商学部から飛島建設(株)へ就職

高校卒業後は日大商学部へ入学し、  
バトミントンに夢中になった。



## 村岡敏英 Profile

昭和35年7月25日生まれ  
身長180cm、体重85kg、血液型AB型  
趣味：野球、バトミントン、読書  
座右の銘：一利一害　著書：STAFF(扶桑社)  
本荘市立鶴舞小卒、市立本荘南中卒、日大付属  
鶴ヶ丘高校卒、日大商学部を卒業。飛島建設6年  
勤務後、政務秘書官・議員秘書を16年勤める。  
第46回衆議院総選挙に初当選。  
第47回衆議院総選挙で2期目の当選。  
令和3年4月秋田県知事選に挑戦し、193,538  
票獲得するも惜敗。

日大卒業後、飛島建設に6年間勤務  
(内、1年は安田信託銀行出向)。  
安田信託銀行不動産部出向時代の同僚、大塚さんによると「仕事は早く、お客様からも好かれていた。それに勤務終了後の酒付き合いは、欠かした事がない。それでいて不動産部で必要な宅地建物取引士の資格を一発取得したのには驚いた。」と言う。

昭和62年、  
妻つぐみと結婚。  
翌々年に長女  
が誕生する。



この頃の飛島建設での敏英は、一つのプロジェクトを任せられ、仕事にやりがいを感じていた頃だった。  
一方、父兼造は要職に就くようになり、彼に秘書就任を要請した。  
敏英は悩んだ末、飛島建設に別れを告げ、政界に足を踏み入れる決心をしたのである。

# 村岡敏英元衆議院議員に聞く

## ◎万全なコロナ対策

## ◎現場の声を政策に



**日本・秋田再起動**

Q 知事選後も政治活動を継続すると言つことだつたが、具体的にどのような活動をしているか？

**村岡** 知事選後から引き続き、全県各地で街頭活動・訪問活動や集会を通して、政策を訴えている。

Q 政策の内容は？

**村岡** 第一に万全なコロナ対策です。そのうえで、「日本再起動」は①信頼できる政治②都会と地方の格差解消③積極財政で経済復活④教育制度改革⑤総合安全保障政策等々の実現です。

また、「秋田再起動」については、①農林水産業の成長産業化②県産クリーンエネルギーによる脱炭素社会のモデルターゲットの設立④女性が活躍できる環境づくり⑤秋田の賃金水準の向上などに取り組み、期限ごと数量目標を立て、着実に実行すれば秋田の未来は変わります。

↓482文字の質疑

正面突破

QRコード



**終戦直後の国会議事堂前はイモ畑**

Q 左の写真が国会議事堂？

**村岡** 実は今から八年前に衆議院予算委員会で、食の安全保障上、日本の食料自給率を上げなければならないという質問をする中で、参考写真として掲示したもの。

「終戦直後は最大の食糧難にあって、国会議事堂前でさえ畑にして、イモを植えなければならぬ程困窮していた。それほど生きるという事に直結した農業に対して、国会議員は意識が低いと感じられる事があり、この写真を見て、今一度農業の重要性を見直して頂きたいという思いでパネルにした。総理はどう思うか。」

これに対して安倍総理は、「農業には大きな可能性が眠っている。あきたこまちも含めて農林水産品の輸出などに安倍政権ぐるみで取り組んでいきたい。」との答弁があった。

Q どうして今、八年前の質問を載したか？

**村岡** 上に掲げた政策と共に感してくられた政党の代表が、私の八年前の質問の内容と、掲示した写真パネルがとても印象に残っていると記者会見で紹介してくれたため、掲載しました。

代表記者会見(3分動画)

